

2021年(R3年)

8月

No. 353

ひとは福祉



社会福祉法人 ひとは福祉会
〒739-1203
広島県安芸高田市向原町長田1857番地
TEL(0826)46-2960 FAX(0826)46-4355

(ホム - ツ アド リ) http://hitoha-fukushi.com (メルアド リ) honbu@hitoha-fukushi.com

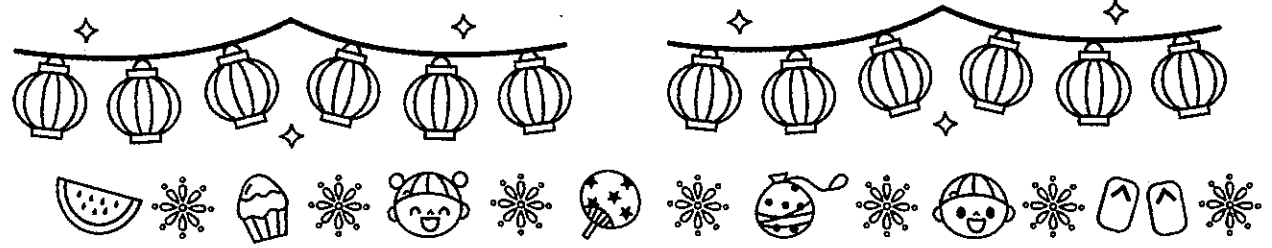
幼い頃、雨を見るとなぜ空から水が落ちてくるのだろうかと思議に思っていましたか、大人になるにつれ雨を鬱陶しく思うことが多くなりました。そんな雨も降らないと大変なことになり、大雨になると災害の心配もあります。災害

がないよう祈りながらも、ひとは福祉会でも災害時を想定した避難訓練など災害対策にも取り組んでいます。現在共同ホーム前の花壇が生まれ変わろうとしており、ホームスタッフを中心にホームのきららがその手助けをしています。あちらこちらにきれいな花を咲かせ、毎年咲く先輩株の紫陽花も今年は際立ってきれいに見えました。

水やりはほぼ毎日宮崎さんと渡辺さんが担当。渡辺さんは小雨の降る中、傘をさして「雨だけでは足りん！」と水やりを。また、たくさん雨が降った翌日の宮崎さんは「昨日の雨に任せた！」と花壇の様子をみていました。雨も期待されたり、されなかったりみんなの思いがいろいろ。これからの花壇の完成も楽しみにしてください。

ホームスタッフが整備をしていると、他事業所のスタッフが足を止め「きれいですね」と声をかける姿をよく見かけます。中にはアドバイスをくれる方も。なかなか普段会話をしないスタッフ同士もこの花壇に立ち寄り、話に花を咲かせていることは嬉しい限りです。

(共同ホームひとは・ひとは作業所 井上 美恵)

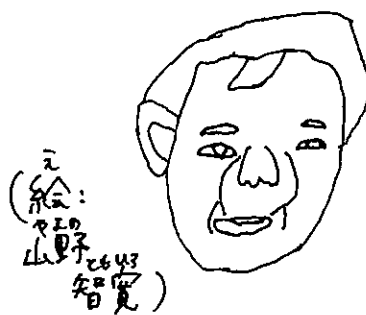


自治会きららへインタビュー

池岡 心さん



仕事は絵を描いています。写真を見ながら描きます。風景を描く時は1ヶ月くらい、似顔絵は1週間くらいで描けます。中学生くらいの頃に外を見ながら絵を描いていたので、手が覚えていました。静岡の病院に入院していた時に階段を使わない方がいいと言われました。でも、やってみたことは階段を使いたいです。



賀張 勝さん

アグリの仕事は正確にすることを心がけています。的場邸(グループホーム)での生活は食事当番があります。自宅に帰ると、しばらく仕事に行けなくなることがあります。今は長い連休の日時だけの帰宅にしています。朝から夕方まで仕事する生活は良いと思います。自宅から通えるようになりたいなとも思います。(コロナが落ち着いたら)飲みに行きたいです。今は部屋で飲んでいます。こういうインタビューは緊張します。

後援会員より

題字の「中森優一さん」の夕前を見て、眼をくまらしたボウズ頭の顔が「うわ、うれしくなりました。うちのクラスによく遊びに来てくれたので! 私の中で「小林さん」「中森さん」そして「中村誠さん」と知り合いが増えてきました。寺尾先生、体を大切にしてください。(広島県廿日市市)

「深夜の夜勤時にて」

ひ
と
は

ある日の夜勤時、過去数年間のホームきらの金銭の出し入れの書類を整理した。歴代のホームスタッフが担当きらの生活に必要な品物、例えばシャンプーや洗濯洗剤、衣類、おやつ等購入する。そしてきらが希望する趣味のCDや雑誌などを採ってくることも。そんなそれぞれのきらを取り巻くありとあらゆるものの購入の記録でもある。体調不良の時には体が楽になる様なグッズなどその人に合わせて試行錯誤しながら購入している。表立っては見えなない支援だけど、字のごとくきらを支えていると感じた。

(共同ホームひとは 蔵下美穂)

「強い気持ちこそが」

の
日

お笑い大好き吉本大好きのメグさんは、いつもみんなを笑いで包んでくれる。そんなメグさんが帰りの車の中でいつもの様に歌ったり、ギャグを言ったりしていたところ、突然「世界を守りたい!」「みんなを笑顔にしたい!」と叫びだした。それを繰り返すので「どうした?メグさん。何で?」と聞くと「もう新型コロナの好きにはさせない」とのこと。世界を守りたい!!と言うメグさんはとても真剣で本気の目をしていて。こんな強い気持ちこそが

コロナをやっつける一番の特効薬の様な気がした。(ひとは作業所 丸井美智子)

「好きな物紹介」

タ

「好きな食べ物は何ですか」と高校一年生のAさんに聞きます。すると「握り寿司」「ミントチョコ」「ミントアイス」「ガム」「グミ」「柿の種」とどんどん返ってきます。毎日同じ食べ物を言うので「今日は新しい食べ物を入れて。」と頼むと「オレオ」と今までなかった物を一つ入れてくれます。次の日は「ミントどらやき」を新しく加えてくれました。

「好きな俳優は?」と聞くと必ず「竹内涼真」と答えるので「まだ言っていない人を言ってみて」と聞くと「山ピー」と答えてくれました。この次は何を加えてくれるのか?と焦りと楽しくなり、Aさんの口から出てくる言葉がたくさん増えるといいなと思ひ、会話を続けます。(ひとはぼろこ 出原昭宏)

語り継ぎたいこと

— ころろえ 帖

改訂版

見守りとは手を出さず、口を出さず、目を離さず

自由活動の場合、言うに及ばず見守りが必要と
なてきます。ところが職員間同志の話に夢中になり、
仲間の行動を注視することが抜け落ちてしまいます。
作業活動の時でも、時として目が離れていません
か。見守りとは、その活動の目的に沿い、仲間の
行動を観察することでもあります。必要なことは、
安全と安心に配慮しながら、仲間の自由行動を
保障することです。目が離れていては、どんな行動
をしていたのかわかりませんよね。



(絵: 川本朋果)

(字: 川本朋果)

編集後記

車を運転中、信号待ちをしていた時のこと。左脇から車が右折をしようとしてきた。信号が青に変わった時、私の前で待っていたバイクの運転手(左脇の車に進むように促したが、好向車が走ってすぐには進めなかった。その時、バイクの運転手は待っていた私に好しても「ごめん」と言うかのように手を挙げられた。そんな配慮、素敵だと思った。(竹の友美)